

情報公開文書

研究の名称	桂枝茯苓丸合茯苓沢瀉湯適応証の解析
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	和漢診療科 渡り英俊
研究の概要	<p>【研究対象者】 和漢診療科において桂枝茯苓丸合茯苓沢瀉湯が処方された患者</p> <p>【研究の目的・意義】 目的：桂枝茯苓丸合茯苓沢瀉湯が有効である漢方医学的特徴を明らかにする。 意義：月経前後に多彩な症状を呈する患者に有効な標準治療はなく、対症療法をせざる得ない場合も多い。漢方治療により症状が緩和する症例も多く経験しており、桂枝茯苓丸合茯苓沢瀉湯の有効性が高まることにより患者の内服薬の数を減らすことが可能と考えられる。内服数を減らすことにより経済的、副作用の観点からも患者に利益があると考えられる。</p> <p>【研究の方法】 過去10年間に和漢診療科において桂枝茯苓丸合茯苓沢瀉湯を処方された患者を抽出し電子カルテ上の診療記録を取得する。診療記録より有効例と無効例を比較し有効例の漢方医学的特徴を明らかにする。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2026年12月31日</p> <p>【利益相反の状況】 利益相反はありません。</p> <p>【研究結果の公表の方法】 日本東洋医学会学術総会で発表を予定</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	診療記録において処方の有効性の有無、漢方医学的診察における脈診、舌診、腹診の所見、年齢、性別、身長、体重、既往歴、気血水スコアを評価項目とし、有効例と無効例を比較する。他機関への提供は無い。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院 病院長 山本善裕
研究資料の開示	研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名）	富山大学附属病院 和漢診療科 渡り英俊
研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7393 FAX 076-434-0366 E-mail watari44@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 和漢診療科 渡り英俊